



日本共産党
市議会議員団
週刊議会報告
【発行】
岡野長寿
(0845-22-2596)
三浦とおる
(0848-48-5044)

消費税増税はキツパリ中止を！

—共産党市議団が定時・定点宣伝で訴え—

提案された値上げ議案の一部

★百島の定期輸送車の運賃を値上げする議案、★しまなみ交流館の利用料を値上げする議案、★因島市民会館の利用料を値上げする議案、★瀬戸田市民会館の利用料を値上げする議案、★市民センター向島の利用料を値上げする議案、

「こんな議案には賛成できないと反対！」消費税増税が中止されれば、この議案は全部廃止され、再度改正議案が提案されることになる。

★文学の館の入館料を値上げする議案、★映画資料館の入館料を値上げする議案、★向島文化ホールの使用料を値上げする議案★おのみち歴史博物館の入館料を値上げする議案★御調文化会館の使用料を値上げする議案★本因坊秀策囲碁記念館の使用料を値上げする議案、★サンボル尾道の使用料を値上げする議案★尾道市営駐車場の使用料を値上げする議案★尾道市市民会館の使用料を値上げする議案★福祉保健施設

岡野市議は、5月25日、6月1日と、田熊港交差点と因島モール前で訴え、「アベノミクスは大企業の内部に巨額のお金を蓄積させただけで、労働者の賃金が上がらない国をつくってしまった。中小企業への支援とともに賃上げを国の責任で行わせて、経済が好転する政策への転換が必要」と訴えました。

また、「大学授業料など教育費負担で、子育て家庭は青息吐息、学費無償化やくらしを支える社会保障制度を」と希望がもてる社会に、選挙を通じて政治を変えよう」と訴えました。

三浦市議も、木梨口と駅前で、「国民のくらしと経済を壊す消費税増税をストップさせよう」と、毎週水曜日に宣伝しています。

なお、2月議会で共産党議員団が消費税増税関連の沢山の議案に反対したことについて、疑問の声が出されましたが、左の表に一部を掲載しているように、10月からの消費税増税実施を当然視する前提で早々と値上げ分を市民に転嫁しようとする議案である

市議選後、岡野長寿市議・三浦とおる市議は、それぞれ、決まった時間に、決まった場所で、宣伝をする（定時・定点宣伝）ことを決め、実行しています。その中で、消費税の中止と同時に、消費税に頼らない7・5兆円規模の、国民のくらしを安定させ、日本経済をよみがえらせる政策を訴えています。

「原発は時代遅れ」 政治が原発ゼロの決断を！

6月9日（日）13時30分～
「さよなら原発 歌声パレード」
尾道駅前芝生集合
皆様のご参加をお待ちしています。

主催 フクシマから考える一歩の会

6月9日の日曜日に「さよなら原発 歌声パレード」が尾道駅前芝生広場集合で、午後2時集合で行われます。

現在、アベ政権は原発再稼働に向けて様々な政治的な圧力をかけてきています。これを許してはなりません。尾道が位置する瀬戸内海においても伊方原発は稼働しています。さらに、島根原発も再稼働に向けての準備が進められています。これらの原発で事故が起きれば尾道市も被害に巻き込まれてしまいます。

原子力発電は、フクシマ原発の事故を見てわかるように、ひとたび事故が起きれば大変なことになることは一目瞭然とあります。

長い道のりも「はじめの一歩から」といわれています。市民の皆さん、一緒に「さよなら原発」を訴えていこうではありませんか。当日は岡野長寿市議・三浦とおる市議も参加します。

市民の皆さん、原発廃止に向けて共に行動を起こしていこうではありませんか。

こと、市民のくらしを壊し、尾道経済にも甚大な影響を及ぼす消費税増税は今からでもやめるべきであり、その是非は参院選で主権者が判断するべきことであること

と、増えた市の収入分は660万円ですが、それは国庫へ納めなくてもよいお金であるという意味では、乗値上げであることから、反対しました。

この増税関連の議案が80あり、議会便りには賛否が分かれた議案だけを掲載することになっていることから、「何でも反対」の印象が残る形になりましたが、内容を見て、ご理解いただきたいと思います。

世界の非核化が大きな課題となつている中、それに水をさす米国の核実験実施。それに抗議した平谷市長の英断にエールを送りたいと思います。「今後、そのようなことがあれば、間髪入れず、市議会議長も同様の行動を」と会派代表会議で提案し、各会派で協議されることになりました。

米国の核実験に
平谷市長が
5月27日
市議会議長も
抗議すべき！

市政要望懇談会
のお知らせ
6月8日（土）
19時から
日比崎公民館にて
行います。